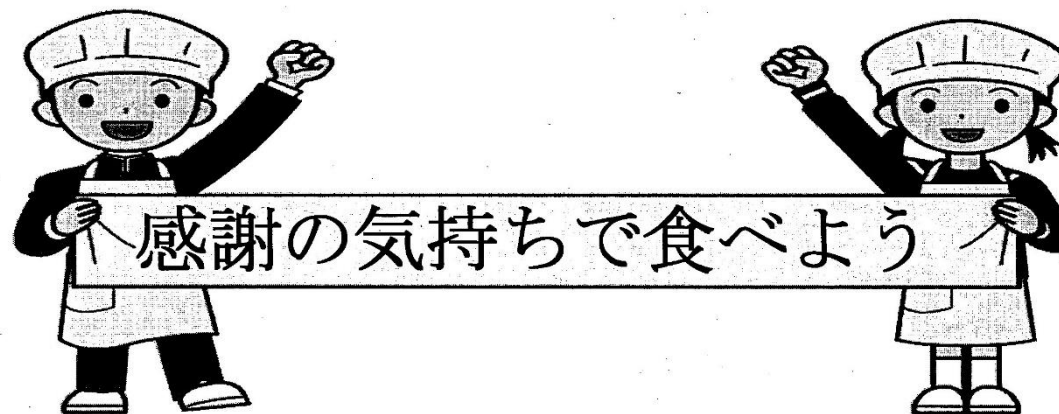


日付	献立名	指導のねらい	感謝の気持ちで食べ物を扱うこと
11/15	ビビンバ、牛乳・ わかめスープ、アーモンドフィッシュ		

※食に関する指導の手引き（文部科学省）では、「感謝の心」を6つの柱の1つとし、主に以下の5つを意味している。

- ・食事のあいさつは、食に関しての感謝の気持ちの表現であること。
- ・食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦勞や努力に支えられていること。
- ・食料の生産は、すべて自然の恩恵の上に成り立っていること。
- ・食という行為は、動植物の命を受け継ぐことであること。
- ・感謝の気持ちの表れとして、残さず食べたり無駄なく調理したりすること。



食べものは様々な命からつくられ、その命をいただく「食事」によって私たちの体はつくられています。そして私たちの食生活は、たくさんの人達が関わることで支えられています。

「いただきます」、「ごちそうさま」のあいさつや、残食を減らす等、感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。